

自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)                                   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|--------------------|---|--|---------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |  |                                       |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |  |                                       |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 施設としての理念に基いて、サービスの提供をその人らしく生活するために支援している。            |                                       |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 日々の業務の中で、チームとして理念の実践に努力している。                         |                                       |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 施設としての理念を理解してもらおう為、管理者、スタッフ共に取り組んでいる。                |                                       |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |  |                                       |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 管理者・職員共に近所の方々とはあいさつを含めて声をかけ合って、立ち寄ってもらえる雰囲気作りに努めている。 |                                       |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域への行事の参加を含めて、自治会、お祭り、市の活動等、地元との交流には努め、参加をしている。      | ○<br><br>更に地域に溶け込んでいける様に努めていこうと考えている。 |

グループホームすずらん・にし

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|------------------------------|---|--------------------|--|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                | ○                  | 飯山当地に施設設立をし、地元の交流はこれからという時であるが、回りの方々とも慣れ、家族とも慣れてきていますが、これから更に地域に入っていきたいと考えている。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |                    |  |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         |                    |  |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         |                    |  |
| 9                            | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          |                    |  |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br><br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している |                    |  |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          |                    |  |

グループホームすずらん・にし

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|--------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |  |                                |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | <p>家族とキーパーソンの方にしっかりと説明を行い、理解を得ている。</p>                             |                                |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>担当者2名を指名し、直ちに対応ができる体制を整えている。また日頃、要望・不満も表出でき易い生活の場としている。</p>     |                                |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         | <p>施設訪問時、個々への対応の中で状態の説明と必要時報告、対処をして、生活の進みの理解を得られていると思う。</p>        |                                |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>投書箱の設置、不満の表出できる様に全体のふんい気作りに努めている(家族の思い、考え方は直接伝わってきている)。</p>     |                                |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | <p>管理者は介護・看護・運営に対して、スタッフの意見をミーティング・スタッフ会議・日常業務の中で、意見・提案は聞いている。</p> |                                |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>シフト作成、日常業務に於いてはいろいろな変化に応じた状況に対応ができる様スタッフの確保には最大努めている。</p>       |                                |

グループホームすずらん・にし

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|--------------------|---|------------------------|--|
| 18                 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> |                        |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |                        |  |
| 19                 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              |                        |  |
| 20                 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | ○                      | 他市町村の施設への訪問を更に進めていく希望を持っている。色々な施設の介護をみていきたい。 |
| 21                 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       |                        |  |
| 22                 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           |                        |  |

グループホームすずらん・にし

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                  |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 利用者には安心して入所してもらい、安心して生活をしてもらう為にしっかりと考え方・要望を受けとめて、対応への努力をしている。 |                                  |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | いろいろの問題が有り入所となるので、安心して入所できる様に困っている事、解決できるかどうか受けとめる。まず、そこから。   |                                  |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 入所を希望として対応しているが、即入居できない場合には、その人のケアマネとの相談と問題解決へのアドバイスはしている。    | ○ 地域の居宅支援事業所、ケアマネとの連携を更に深めていきたい。 |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 施設入所前に見学、半日のお試し等を計画しているが、これから更に検討をしている。                       | ○ 認知症である症状を思い、支援をしていく。           |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 介護者は一方的支援の立場では無く、共に生活を楽しく過ごすことに努めている。                         |                                  |

グループホームすずらん・にし

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                       |
|-----|--|--|------------------------|---|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | いろいろな問題をかかえている方がいる。共に考えられる事については解決に努力をしていく。                  |                        |   |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 本人と家族との関係は大切なものであることを理解し、関係を築いていける様に、支援をしていく。家族との間を大切にす。     |                        |   |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 馴染みの関係は継続がいつまでもできる様に支援に努めている。                                |                        |   |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 個々の状況に応じて対応を変えて、各々の尊厳が守れる様に利用者が良い関係で生活できるよう、声かけ、見守り、支援をしている。 |                        |   |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている |  | ○                      | 契約修了をした方は1名しかないので、今後は管理者、スタッフ、どの様に連携を図っていくかを検討し考えていく。 |

グループホームすずらん・にし

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------|
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                 |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | その人の生活歴、思いを把握し、その人の望む生活を提供できる様にプランを作っていく。                      |                                 |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | これまでの生活歴、環境、家族関係を知り、サービス利用迄の経過は大切であるので情報の収集をして、その人を知って、生活を支える。 |                                 |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | その人の全体像を知り、生活を支える。   |                                 |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                 |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | チームケアの大切な施設であることを理解し、各々の情報を共有し、その人を支える介護プランの作成に努めている。          |                                 |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 状態は日々に変化しているので見直しは絶えず予測されている。家族との連絡、医師への相談、発生した問題に対応している。      |                                 |

グループホームすずらん・にし

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 日々のケア記録は詳細であり、時間別にしっかりと実施されている。                                      |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |                                 |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 発生している問題については要望に応じられる様に支援をしている(外泊、外出、病院受診、入院時の支援・対応、おでかけ、ボランティアの利用)。 |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |                                 |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | ボランティアの利用により、散歩、傾聴について協力を得ている。                                       |                        |                                 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 必要があれば、ケアマネ、事業者との連携には応じたいと考えている。                                     |                        |                                 |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に参加を得て、運営への協力を得ている。  |                        |                                 |

グループホームすずらん・にし

| 項目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----|--|--------------------|--------------------------------|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>  | ○                  | 更によりよい関係作りに努力していく。             |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                    |                                |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                    |                                |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                    |                                |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |                    |                                |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                    |                                |

グループホームすずらん・にし

| 項 目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|-------------------------------------|--|--|------------------------|---|
| 49                                  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 環境の変化への不安、恐怖への対応はしっかりと情報の交換、把握をして対応をしているが、各々個性があるが、徐々に施設に慣れる状況である。               |                        |   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |  |  |                        |   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |  |  |                        |   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |  |  |                        |   |
| 50                                  | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | スタッフの声かけ、見守り対応は、大切な支援である。その人の尊厳を守る意味を理解できる様、職員全体で学んでいく。                          |                        |   |
| 51                                  | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 自分の言葉で表出できない方でも、その人の思いが知ることができる様に、その人が納得できる生活ができる様に支援するために、その人に沿うという事を理解して学んでいく。 |                        |   |
| 52                                  | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                         | その人の思い、ペースを大切に、ゆっくりとしたペースでの生活を支えられる様に努めている。                                      | ○                      | 職員の人数も充足していることが大切であるので、足りない事のない様に努力をしていく。 |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |  |  |                        |   |
| 53                                  | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 家族との相談により定期的に美容院・理髪には対応している。家族、本人の希望している所に行く。                                    |                        |   |

グループホームすずらん・にし

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|------------------------------|--|------------------------|--------------------------------------|
| 54                           | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    |                        |                                      |
| 55                           | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>           |                        |                                      |
| 56                           | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>       |                        |                                      |
| 57                           | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   |                        |                                      |
| 58                           | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    | ○                      | その人の状況は種々であるため、入眠剤を医師と相談して飲んでいる方もいる。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |  |                        |                                      |
| 59                           | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |                        |                                      |

グループホームすずらん・にし

| 項 目            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 60             | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | 金銭は個々に応じて対応している。どうしても自分でおサイフを持ちたい方には家族と相談して持ってもらうことにした。紛失等の問題は現在無しです。 |                        |                                 |
| 61             | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 家族の協力、ボランティアの協力、スタッフの充実により、できる限り希望に沿うようにしている。                         |                        |                                 |
| 62             | ○普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | どうしても畑に行きたい方にも、スタッフと共に行動をしてみる計画を実施をしてみた。利用者本人が自分の希望を表出できる様に支援に努める。    |                        |                                 |
| 63             | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 本人の希望により家族への電話はかける事ができる。家族にも協力を得られる様にしている。手紙のやり取りもできる。                |                        |                                 |
| 64             | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 施設面会時間は何時でもOKとしている体制を取っている。近所の方、友人の方々も気軽に来所してもらえる様、職員も努めている。          |                        |                                 |
| (4)安心と安全を支える支援 |   |   |                        |                                 |
| 65             | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 介護保険の理解をし拘束をしないケアの実践に臨んでいる。とに角、拘束をしない、してはいけない事を心に留めている。               |                        |                                 |

グループホームすずらん・にし

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                      |
|-----|---|------------------------|---|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     | ○                      | <p>スタッフの数の充実、認知症症状への学びを更に深めて、施設の運営を進めていくことに努める。</p> |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              | ○                      | <p>スタッフ(新人)の入職もあるので指導をしていき、見守りの意味を理解してもらう。</p>      |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |   |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                        |   |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               | ○                      | <p>更に研修への参加、指導により事故を予防していく。</p>                     |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | ○                      | <p>4月から看護師3名となるので、更に充実して対応していく。</p>                 |

グループホームすずらん・にし

| 項 目                              |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)          |
|----------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 72                               | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 一人ひとりの変化は日々の状況の中で有り得るので、入所時十分に説明を行っている。しかし、足りない部分が有ってはいけなないので、変化の生じた時には直ちに連絡をとり対処している。 | ○                      | 家族には説明は十分に行う事になっている。更に、リスクは有ることを理解してもらう。 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |  |  |                        |  |
| 73                               | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 一人ひとりの変化を、早期発見と対処をする為には日頃の観察の目が大切、即対応を心掛けている。  |                        |  |
| 74                               | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 個々の疾患への対応、確実な服薬には医師からの指導も得てしっかりと行っている。服薬の袋、セットを整えて実施している。                              | ○                      | 副作用についても学び、スタッフに情報を知らせて、観察の実施をしている。      |
| 75                               | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 体調を整え、生活リズムを守る為に排泄は大切なことであると学び、排便チェック表により支援している。                                       |                        |  |
| 76                               | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 肺炎の予防、不明の熱発の原因の最たるものなので、口腔ケアはハブラシ、口腔スポンジ、イソジン液の利用をしている。                                |                        |  |
| 77                               | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 脱水は体調、意識レベルの維持への大切な分野であるので、必要な方には水分量のチェック、排尿チェックで観察している。                               |                        |  |

グループホームすずらん・にし

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | インフルエンザ予防接種の全員の実施(スタッフ共に)には努めている。施設の清潔、環境を整えて食中毒の予防にも注意を促している。新入所者に対しては疥癬への観察をしっかりと行う。 | ○                      | 今後、各々にマニュアルの作成も更に充実をして学んでいく。    |
| 79                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 使用後の整理と消毒に努めている。またフキン、台所用品についても夜勤帯に於いて、洗濯、消毒を行う。                                       |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関は出入りし易い様に設計し、気持ちよく来所できる様にスタッフ共に心掛けている(あいさつ、声かけ)。                                     |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールが生活の中心で有るので、居心地よい場所である様に、スタッフの行動と共に工夫をしている。   |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | ホールの居場所は各々に決まっているが、その方の状態により変化する時もある。  |                        |                                 |

グループホームすずらん・にし

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|---|---|------------------------|--|
| <p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br/>のものを活かして、本人が居心地よく過<br/>せるような工夫をしている</p> | <p>自分の居場所作りの工夫は家族、本人と相談しな<br/>がらコーディネートすることになっているが、入所<br/>後、スタッフも、その人にとりどの様にすれば良<br/>いか考えている。</p> |                        |  |
| <p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br/>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br/>な差がないよう配慮し、利用者の状況に応<br/>じてこまめに行っている</p>  | <p>建設時より、ハードの面は工夫している。</p>  |                        |  |
| <p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>   |   |                        |  |
| <p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br/>して、安全かつできるだけ自立した生活が<br/>送れるように工夫している</p>                | <p>安全を最優先として環境を整えてきた。防災、防<br/>災、電気による設備、床は段差なく、風呂場も安<br/>全を優先しているので、現在事故なく経過してい<br/>る。</p>        |                        |  |
| <p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱<br/>や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工<br/>夫している</p>                          | <p>一人ひとりの持っている力を知り、やれることを<br/>やらせてもらうことを大切にしている。やりたい事<br/>を援助できる、スタッフの見守り環境を整えてい<br/>る。</p>       |                        |  |
| <p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し<br/>んだり、活動できるように活かしている</p>                                       |   | ○                      | <p>外部の環境はまだこれから整えていく予定で<br/>す。時期を選んで花の種まき、野菜作り等、園芸<br/>への活動を全員で予定している。ベランダについ<br/>ては検討中です。</p> |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| V. サービスの成果に関する項目 |  |
|------------------|--|
| 項 目              | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)  |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない                   |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                                       |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない                            |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない                 |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない                           |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている<br>○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない                    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない            |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                               |

グループホームすずらん・にし

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)